

# 令和4年度 豊中市総合計画審議会(第二部会) 第1回 議事要旨

【日 時】令和4年(2022年)7月21日(木)18時~20時20分

【場 所】豊中市役所第一庁舎4階第1会議室

【出席者】有川委員(オンライン)、加藤委員、水上委員、壬生委員、八木委員

【欠席者】なし

【事務局】榎本都市経営部長

都市経営部経営計画課：森田、田中、島、上田

【傍 聴】2名(オンライン)

【案 件】1. 第4次豊中市総合計画後期基本計画(行政素案)について  
2. その他

【資 料】資料1 第4次豊中市総合計画後期基本計画(行政素案)

参考1 第4次豊中市総合計画(本編)

参考2 第4次豊中市総合計画(概要版)

参考3 前期基本計画と後期基本計画(行政素案)の比較

【会議録】下記のとおり

## ■開会

## ■成立要件の確認

### 事務局

審議会規則第7条第2項に基づき、会議の成立には委員の過半数の出席を必要としています。本日はZoom参加の1名をあわせて、全5名の委員が出席いただいておりますので、成立要件を満たしています。

## ■資料の確認

## ■「1. 第4次豊中市総合計画後期基本計画(行政素案)について」

### 部会長

それでは案件に移らせていただきます。まず事務局より、説明をお願いします。

### 事務局

(資料1に基づき説明)

## [3章について]

### 部会長

まず冒頭の概略をご説明いただきました。それでは、3章から議論をお願いしたいと思います。先ほどの説明にありましたが、前回の全体会議で少しご指摘がありました、市民意識調査の分析の観点につきまして、事務局から説明を受けた後、3章のご意見をいただきたいと思います。

## 事務局

(市民意識調査についての説明)

### 部会長

3章に関する部分は、12ページの表では9から13までの項目です。これらについて、総括としては、3回の調査ですべて上がってきています。今日はどんな調査だったかということの概要を説明いただいてよく分かりました。総括として、細かい評価要素があげられましたので、今聞いた範囲だけでいうと、ここを参考にしてKGIを出してきたのかなと感じましたが、そうでもないようです。前回の委員のご指摘は、総括としてどう分析したのか、それを次の後期基本計画にどう活かしているのかというご質問だったかと思います。そういうことも含めて各委員から30分くらいご意見をいただけたらと思います。

### 委員

事務局のほうからご説明をいただいて、12ページの前回ご質問があったところを踏まえて、どのような形で今回の後期基本計画になっているのか理解は進んだのですが、前期の評価がどうであったか、もう少し説明があったうえで、後期基本計画に繋がっているというのがもう少し分かると思います。今、説明を伺ったら理解は進んだのですが、この資料だけでは分かりにくいことがあると思いました。

### 部会長

基本的に、前期基本計画と後期基本計画の違いはあると修正項目が出ていますが、大きくはあまり変わっていません。シンプルにまとめたということです。構成と重み付けが変わっているものが少しありますが、あまり多くないと思います。基本的には、そのまま良いのではないかというような姿勢が伺えます。そういうことについて、本当にそれで良いのかという全体的なご意見もあるかと思います。また、個別に9番から13番の市民意見の項目がありますので、そういうことで総括を一応したわけですが、それは大体右肩上がりでも評価できますので、政策としては間違っていないという、ある種の隔靴搔痒的な評価とも感じます。

### 委員

こういうアンケートを総括として数字まで出すのはどうかと思います。一般的に我々がこのような数字を見ると、お客様満足度のように見えてしまいます。極端なことを言うと、例えば13番の項目の27.9%では、10人のうち3人しか理解をしていないということです。なのに、他の項目で見ると、最高点は86点とかがある。10人のうち8、9人はそれを合意していますとか、満足していますというように、我々にはそういう数字に見えてしまいます。総括として、この数字を使うのであれば、先ほどご説明いただいた内容とこの数字が本当に絶対値でリンクしているのかと思います。9番から13番の数字を見ると、13番が最重要課題だと見えてきます。ですが、結果を聞くと、豊中は地域産業に理解を示さずに全く何もしていないわけではないと思います。私は変に数字を使うと、誤解を生むのではないかと思います。変な数字が独り歩きするのではないかなと思います。

## 部会長

更にアンケートのまとめ方、パーセンテージを表示するところの手法について分かりにくいところがあるというご指摘でした。

## 委員

どうしてこんな差が出るのでしょうか。

## 委員

私もこれを見ていると、27.9%というのは関心の度合いだと思います。豊中市はやはり住みよいという、暮らしの場としてのイメージがあります。そうすると、地域産業の問題に対するアンケートは、どういう方を取られているのでしょうか。実際に、商業あるいは工業など、市民目線でそういうことが分かるのかどうかということがあります。アンケートの取り方、対象が違うのではないかなという感じがします。「3-5 産業振興の充実」というところで、数字だけ見ると関心が薄いなど感じます。一般の人に聞いても分かるわけがないと思います。この27.9%の数字が上がっているから良いということではなく、どういう取り方をこれからしていくのかということが大事だと思います。

## 部会長

ありがとうございます。ここの中で、異常値としてはこの13番と18番と思います。アンケートの手法の問題になるのですが、経年変化で答えてもらっている人の標本数としては、何人でしょうか。

## 事務局

8,000人を対象とさせていただいており、回収率は約45%で、4,000人弱の方にご回答いただいています。

## 部会長

4,000人という回収率は3回とも同じくらいにあるという前提にまず統計手法上はなっていないといけなわけですが、ただ母集団の属性が、サラリーマンが多いのか、男性が多いのか、女性が多いのかというバランスは、あとで修正をしないといけません。それでやられていることを前提として見ると、これは経年変化を見ているということだと思います。つまり施策のPDCAに役立てるために、ある時点での同じ属性に対して、同じ質問をしているということです。その経年変化を見た上で、右肩上がりだということです。そういう建て付けになっているはずなので、ご指摘のように、分からない人が答えているのではないかとかということはもちろんありますが、統計手法上は仕方ないことでもあります。一応、理論上はデータとして合理性があると見ざるを得ないということです。3回とも素人が13番を答えているという意味では同一です。

## 事務局

おっしゃるとおりです。各地域の人口割はしていますが、8,000人を無作為抽出し、意識調査をお願いしているので、当然、素人の方も詳しい方も含めて送っているところかというと、経年変化で追っている数値というところがあります。報告書は市のホームページでも公開していますが、そこ

で産業のところですが、回答の3年間の部分を見ていただけたらと思いますが、ご指摘があったように、市民の方が見た時にこの分野は少し分かりづらいのかなと思います。「わからない」という回答が29年度57%あり、減ってはきていますが、話が難しいのかなということもあるので、来年の市民意識調査をする時には、質問の聞き方ももう少し分かりやすくしないとこの数値は変わってこないという反省点を感じています。

#### 委員

絶対値というとおかしいですが、この基本計画をスタートする前の2017年を0とした場合、どう推移しているのかなど、それならまだ分かりやすいと思います。基準点を決めた上での推移を見せれば良いのではないのでしょうか。豊中市は産業に対して理解のないまちかと誤解されてしまうのではないかと懸念します。

#### 部会長

これはあくまで市民アンケートです。参考的なデータであり、経年的にどのような変化をしているかを示しています。

#### 委員

調査の意図も方法も理解はしていますが、このようにまとめてしまうと、経年変化だけではなく、どうしても項目間の比較をしてしまうと思います。それを踏まえた上で分析をするのか、誤解がないように見せ方を工夫するのか、検討しても良いのではないのでしょうか。また、アンケートの結果を数字で出していく時に、「わからない」という回答の扱いが難しいと思います。13番の「地域産業が活性化しているまち」については、悪い回答が多いのではなく、「わからない」が多い結果だということの方が分かりすっきりしましたが、この数字だけだとそこが分からなく、違ったイメージを市民に与えてしまうのではないかと心配します。

#### 委員

「地域産業が活性化しているまち」というフレーズが、一般の方には分かりづらいと思います。それは市民の方にとって、買い物が発達しているかどうか、利便性があるかどうかといった生活に密着した商業の話なら答えやすいと思いますが、「産業」といった括りは分からないと思います。

#### 部会長

市民意識調査は、ものすごくアバウトでイメージ的なものです。平成29年度の調査で、17%から85%まで開きがありますが、同じ基準のところセットする処置を行えば、ご指摘の心配はなくなると思います。これは市民から見れば、異常値と感じられると私も思います。うまく総括をしないと難しいように思います。

3章の議論をしたいと思いますが、KGIとして「現状」と「目標」が黒丸（空白）の資料を渡されているのですが、ここに数字は入れるのでしょうか。

#### 事務局

入れさせていただこうと思っています。

## 委員

これは先ほどのアンケートの数字のようなものが入ってくるのでしょうか。

## 事務局

それもありますし、実際に数値として計れるもの、例えば「3-1」の「市民一人あたりの公園緑地面積」等でしたら数値として出てくるところもありますので、今後確定次第入れさせていただければと思います。

## 部会長

諮問書の答申を返すときにどう答えたら良いのか迷います。「現状」と「目標」の黒丸（空白）のところに入ったものに意見を言うのでしょうか。

## 事務局

数値の確定が出来るもの、出来ないものがあり、答申書をいただいてから、最新の数値を公表までに入れたいと思っています。

## 部会長

ということは、この審議会では、この項目でやりますということに対する意見を言えば良いということでしょうか。

## 事務局

はい、そうです。

## 部会長

総合計画でKGIを入れるというのは良いことですが、入れることが出来るかと心配でした。目標値を入れると、責任が伴います。前向きに捉えたいと思います。わかりました。

他にいくつか分かりにくい言葉があります。43 ページ、「3-3」のKGIの②「誰もが安全に安心して気軽にでかけられるまちと感じている市民の割合」がくどい表現のように感じます。一例ですが、挙げさせていただきました。

全体的に前回の政策評価で、評価がBとかAとか出てきているものがありますが、それと比べてみたらBが多かったので、そのままの項目をスライドさせていくというのは妥当かなと思います。そのまま進めたら良いのではないかということでした。その中で、産業振興のところもすごく気になりました。47 ページの「3-5」のKGI②で「域内循環率」が出てきていますが、域内循環率を出せるのか心配しました。

## 事務局

RESAS という国のシステムで、「生産」「分配」「支出」の3項目による豊中市の域内循環率が公表されています。域内で生産されて全部循環されて戻って来ると100%というのがきれいな形ですが、豊中市の場合77.3%ということで、市内で稼いだお金が域外に出て行っている状況です。大阪市内に

なると 100%を超えており、域外から入って来る収入があるということです。この 77.3%を高めていこうと、経済のひとつの目標としては考えています。できるだけ市内での消費を促していくことで、域内支出が上がってくるので、循環率も高まっていくだろうと考えています。

#### 委員

上げようとしたら、外からの人が豊中市で消費をしてもらったら良いということでしょうか。消費地として、魅力のある商業地域になれば数字が上がっていくということですね。

#### 事務局

そういうことです。大阪市はまさに外からの収入がかなり大きい状況です。

#### 委員

域内循環率を上げようと思ったら、民間の力がいると思います。豊中市が公共施設の建築とかの費用を地元で3割調達しなさいということを決めていただいています。そういう事がやはりひとつの循環につながるという、基本的な問題だと思います。域内循環率を上げようとしたら、市がもっと施策としてどんどん打っていかないといけないと思います。

#### 委員

豊中市は住宅都市だから、外で稼いだお金が入ってきているから、その収入は多いまちかと思っていました。域内循環率というものが何か分かりましたが、これを KGI にすると一般の人は分からないのではないかと思います。

#### 部会長

市民にはわかりづらいと思います。経営力の向上や雇用機会、新たな産業の展開などいろいろ書いてありますが、循環率を上げるという政策がどれに結びつくのか分からなかったです。それを分かりやすくしてあげると、域内循環率はわからなくても、数値を上げることがこの施策に直結しているという関係性を示すことが分かりやすくするというのではないかなという気がしました。

一番気になったのは、55 ページのスポーツのところです。「4-2 施策の方向性(3)スポーツにふれる機会の創出とスポーツ施設の環境整備を進めます」というのは、従前の施策から大きく構成を変えて重点化したのかよく分かりませんが、横並びで施策の方向性(2)と(3)は分けて並列に並んでいます。特出しをしています、全体的には内容が薄いと思います。「市民・事業者の主な取組みのイメージ」のところでも「スポーツの場や機会を創出しています」と1行しか書いていません。53 ページの冒頭でも、文化芸術、生涯学習、スポーツが対等に書かれています。しかし、KGI のスポーツに関する項目はありません。一応このスポーツのところは組み替えているので、見ると少し特出しされているような気がします。結論からいうと、スポーツに関する記述が弱いという意見です。

#### 委員

KGI についてですが、挙げるにあたって何かルールがあったのか、どういう考え方で今これが挙がってきているのか、情報提供いただけるものがあれば教えていただきたいと思います。

## 事務局

KGI 設定させていただくにあたっては、「令和9年度末までに実現したい状態」と整合性が取れているという点が一番大きいところです。それをふまえた上で、KGI を測っていく中で、市民意識という主観的な指標もちろん必要とっておりますし、実際数値で測る客観指標も必要とっております。それが出来るだけひとつずつ以上は入るように担当課と調整をさせていただいています。

## 委員

市民の思いを聞く手段はアンケートだと思いますが、今回以降についても、先ほどのご説明のとおり、まずこの記述をした後に、細かい施策を挙げて、回答の理由を聞こうとお考えでしょうか。ひとつの質問に答えに迷うような3つくらいのキーワードが入っていることがあり、その場合何が原因か分からなくなります。

## 事務局

市民意識調査につきましては、今回の KGI として、新しく取るようなものもあると思っております、先ほど見ていただいた調査票からは少し見直しは必要と思っております。一文の中にいろいろな言葉が入っていると、そこに引っ張られてしまう可能性もあるというところは、見直しをかける時には注意しないといけないと感じました。

## 部会長

ご心配のように、KGI というのは手法として明確にしておかないといけないと思います。ただ、特に意識調査の指標、意識の指標というのは難しいです。

## 委員

「3-5 産業振興の充実」について、「事業所数」はやはり増えるということがプラス、良いということだと思います。そうすると、事業所数の中でも、大手の支店は減っています。ただし、今のコロナ禍のひとつの現象だと思いますが、個人のフリーランスの方が創業、開業する数が非常に増えています。そうした場合、病院や市役所には総合案内がありますが、創業、開業する時にも総合案内所がいると思います。会社を創業する時には、自分はどこへ行って、どういう形で創業したいかという事に対する総合案内がいると思います。例えば生活に困窮されていたら、くらしかんへ行ってください、ある程度新しい事業を構築される場合、商工会議所へ行ってください、あるいは起業・チャレンジセンターへ行ってくださいというように、明確にそこで指示されると迷わずガイダンスに沿って創業できると思います。ですので、事業所を増やそうとした場合に総合案内的なものをネットでもっとお知らせする、あるいは市役所のガイダンスの時に創業、開業に対するご相談を受け付けますということが是非とも必要だと思います。

## 部会長

ご指摘は、48 ページの「施策の方向性」または「市民・事業者の主な取組みイメージ」の中の語句として、総合的な相談所のことを少し入れるべきだということによろしいでしょうか。

## 委員

事業所数が毎年増えていくようにしたいのであれば、ありたいようにすべきだということです。勝手には増えないです。増えていくことに対してどういう施策を打っていくかを具体的にしないと意味がないと思います。

## 部会長

ここでは、事業所数について、「現状」と「目標値」を挙げることになっていますので、目標を増えることを前提に、それに応じた施策の方向性が少し弱いのではないかとご指摘として受け止めました。

## 委員

48 ページの施策の方向性(1)の②「市内事業者の成長促進の支援および地域の商業活性化の推進」の前に、例えば「起業」などのコメントを入れた上で、具体的に「起業の支援」とかを下に入れるなど具体的に書いたら市民の方も分かりやすいと思います。

## 委員

47 ページの本市における現状の取組みというのは、既に起業されている方に対する支援です。しかし、創業されるプレーヤーがどんどんアフターコロナで変わってくると思います。変わってくるということは、零細のところはリタイヤされ、新しいプレーヤーが出てきます。そういう人に対して、豊中市はどのような施策を打っているのかということが大切です。それも規模と経験によって、条件が変わってきます。簡単なガイダンス、総合案内所はどこにあるのか、市役所のどこに行ったらわかるのかというようなことを、具体的に少しでも良いのであればと思います。

## 部会長

「市民・事業所の主な取組みイメージ」のところで、「市内産業や新たな事業展開に取り組んでいます」というような柔らかい書き方でインキュベーション機能は一応書いていますが、もう少しインキュベーション機能を施策として書いて欲しいというご意見です。他にいかがでしょうか。

## 委員

豊中市の特徴というのは、私は空港だと思っています。空港の文言もいろいろ出ていますが、市民目線で見ると、大阪国際空港という名前、正式名称は大阪インターナショナルエアポートで、略称がそうになっています。一時期、騒音問題で、環境のところで地域住民に対するネガティブなものが空港だということもありました。このご時世SDGsから言うと、カーボンニュートラルを目指しているのに、ナフサを大量に燃やして煙を出して飛んでいるのは飛行機だというマイナス面もあるけれど、私はやはり豊中の特徴である大阪国際空港の将来をどこまで描けるかということがあると思います。具体的に市民に夢を持たせながら、大阪国際空港を中心とした地域の発展、人が消費でうまくお金を落とす、ここに住みたいという部分は、「活力あるまちをつくる」ことの一番のキーワードではないかと思っています。難しいとは思いますが、大阪国際空港を中心に豊中市はこれから発展を目ざすと文言的に強い言い方をしていた方が、市民の方にも市民以外の人にも興味があるだろうと思います。人口を増やそうと思ったら、外から入れていかないと仕方ないです。あと、



海外の人たち、特に大学は留学生の方が多いと思います。大学の周りは良い環境で、勉強しているとそこに住みたいと思うような地域のイメージを大学は持っていると思います。大学も非常に貴重な財産で、そこへ人を呼ぼうとしたら、新幹線ではなく飛行機で来られる豊中というところをうまく繋げて、空港というメリットをうまく打ち出せばいろいろなことに繋がっていくのかなと思います。ただし、騒音や排気ガスなど負の側面もあります。それをどううまく「3-1」か「3-2」の中で表すかが大切だと思います。

#### 部会長

46 ページの施策の方向性(1)の③「大阪国際空港を活かしたまちづくりの推進」をもう少し膨らませて書くということでしょうか。

#### 委員

ここもそうですが、環境面で航空機騒音があり、「3-1」にも少し書いてあります。ネガティブな部分だが、対策は今後の重点課題ではないのではないかと思います。今後の課題は 39 ページの一番下に航空機騒音とアスベストが同じレベルで書いてあります。今は、飛行機はだいぶ静かになっていると思いますが、間違いでしょうか。課題として、アスベストと同じレベルではないのかという気がします。

#### 部会長

環境省の基準でいうと駄目でしょう。

#### 委員

航空機騒音に対する地元の団体があります。一方、大阪国際空港および周辺地域活性化促進協議会という大阪国際空港を活性化させようという団体もあり、商工会議所が中心となってやっています。しかし、政治の力学もあり国際便は関西国際空港と神戸空港になると思います。そうすると、大阪国際空港の生きる道というのは、むしろ乗り継ぎの国内線にあると思います。ただし、今度大阪万博があります。これによってまた変わると思います。おそらく2つの空港だけでは受け入れられなくなってくるでしょう。

#### 部会長

豊中市の空港ではなく国の空港で、コンセッション事業を活用した3空港一体での民間運営空港です。政策的にはなかなか言いづらいところがあります。

空港を活かしたまちづくりは面々と市としてはもっておられ、全面に出したこともありました。

#### 委員

あとの2空港は海上空港です。

#### 委員

危険分散という意味では、かなり有利ということでしょうか。

## 部会長

ただ、大阪国際空港を機能アップするためには土地がなく、第二滑走路ができないですし、滑走路を延長できません。ある意味、残念ながら物的将来性はないともいえます。

## 委員

技術革新で変わるのではないのでしょうか。

## 委員

文言、書き方について何点かあります。40 ページ、「3-1 施策の方向性(1)さまざまなステークホルダーと連携して環境政策を推進します」について、内容をみると、学びや啓発の話なので、これを環境政策と言ってしまってよいのでしょうか。もっと的確な言葉に変えられるのではないかと思います。

41、42 ページ、「3-2 脱炭素・循環型社会の実現」について、施策の方向性で脱炭素社会は実現とあり、循環型社会は構築となっていますが、これは意図して使い分けをされているのでしょうか。施策タイトルも実現したい状態もどちらも実現となっていますので、意図的でない場合、書き方を統一されたほうがよいのではないかと思います。

48 ページ、「3-5 施策の方向性(1)地域産業を支援し、投資・消費・働く場が活性化するための体制をつくります」の体制とは何でしょうか。この言葉を使わなくても意図は通じるかと思しますので、書き方を整理されたほうがよいのではないのでしょうか。

## 部会長

構築と実現は全く違う意味合いで、構築とは計画的概念です。体制の使い方とあわせて、ご検討いただきますようお願いします。

## 委員

3-1 の KGI の「③市民一人あたりの公園緑地面積」は、公園緑地面積を人口で割って算出しているのでしょうか。「施策の方向性(2)①公園緑地の整備・充実」とあります。豊中市の資産を運用してお金もうけをするというと不謹慎に思われるかもしれませんが、どのようにお金をもうけるかは大切なことです。施策の方向性としてよいことが書いてありますが、書いてあることはすべてお金の必要なことです。例えば、公園の整備において遊具などにネーミングライツで寄付を募る、野球場やテニスコートなどのように大きいものではなく、ブランコ、高齢者の運動器具、そういったひとつひとつに寄付でネーミングライツにしてはどうでしょうか。地元の商店でもよいと思います。そのように活性化しながら公園を整備していくことも考えなくてはいけないと思います。ネーミングライツで賛同した方はその公園に対する関心が出てくる、維持管理ができていなかったらボランティアでしょうか、ペンキがはげていたらペンキでも塗ろうかなど、参画することでよいことが生まれてきます。

## 部会長

ご指摘の箇所には、「民間活力を活用した魅力ある公園づくりを進めます」と記載されています。一般的には指定管理に出すとか、NPO を活用するなどの解釈になるかと思えます。39 ページの現状

と課題に記載があるように豊中市でもすでに実施をされているかと思います。民間の経済的なマネジメントの仕方を導入することについて、今のご意見を反映いただくことをご検討ください。

#### 委員

目的が分かると寄付します。寄付してもどこに使われたかわからないのはなかなか賛同しにくいです。

#### 部会長

大阪市の「てんしば」「大阪城公園」などの例もあります。

前期基本計画に比べ自転車問題がなりをひそめた感じがします。解決したのでしょうか。44 ページ、「3-3 施策の方向性(3)の②交通安全対策の推進」に「～自転車をはじめとした交通マナーの啓発に取り組みます」とあり、ソフトで解決する印象を受けました。事故も多発しており、歩者分離でつくっていかねば危ないですので、自転車道の整備についてもご検討ください。

#### 委員

貸出自転車が増えています。あれば事業登録を市にするのでしょうか。

#### 事務局

市と協定を結んで実証実験で始めているものとなります。基本的には事業者で進めていただいております。市の協力としては本庁、給食センターなど市有施設にポートを設置していくこと、道路占用許可等の手続、広報になります。かなり利用者数ものびてきており、市内全域にポートがあります。電動アシスト付き自転車がすべて配備されていますので、よく利用されています。

#### 委員

せっかく良いことをされていますので、自転車のマイナス面ではなく、プラス面でこのような取り組みを積極的に進めていることも入れてもよいのではないのでしょうか。良くなってきましたが、自転車が走れる道路はつくらなくてはいけないと思います。ロマンチック街道には自転車用の線ができています。

#### 事務局

自転車通行帯の整備についても計画を立てて進めています。一方で、市民意識調査などのアンケートでは自転車が走りにくいとのご意見が出てきていますので、しっかりとやっていかねばならないと考えています。前期基本計画策定時点では、放置自転車問題が多くあり、特に庄内駅周辺が多かったのですが、駐輪場を整備したことにより現在は一切なくなり、かなり改善しております。

#### 委員

44 ページ、「3-3 施策の方向性(2)①道路整備の推進」に自転車道の整備を、「同(3)①公共交通の充実」に加えて貸出自転車事業の充実の推進などを書いたほうがよいのではないのでしょうか。

## 部会長

具体的な事務事業になるものまでは書けないとは思いますが、例えば取組みイメージで「～に取り組んでいます」と具体的に入れることが考えられるかと思えます。

## 委員

健康志向で自転車通勤が増えています。今後のトレンドになるのではないかと思います。

## 部会長

ポストコロナでは、交通システムとして自転車、ウォーキングはとても重要なテーマになると思いますので、ご指摘の点などもう少し強化してもらえたらと思います。

## 委員

全般的に KGI の中で、アンケートで本当に正確な数字がとれるのかとの心配があります。例えば 39 ページ、3-2 の KGI 「①豊中市の自然環境や都市のみどりに満足している市民の割合」とありますが、「自然環境」と「都市のみどり」と違うものが並んでいることや「都市のみどり」が何かなど、答えにくいのではないかと思います。次の「②大気や水質など、良好な生活環境が維持されていると思う市民の割合」も同様で、「良好な生活環境」と聞かれて大気汚染や水質汚濁のことがイメージできるのだろうかと思いました。KGI であげて、あとで困らないかとの心配があります。

41 ページ、3-2 の KGI について、「③市民一人当たりの温室効果ガス排出量」は一人当たりになっているのに対し、「④ごみの焼却処理量」は一人当たりになっていません。意図があるのならわかりますが、人口がそれなりに増えていっているなかで目標値をどのように立てられるのかに注意が必要ですので、整理をしてもらえたらと思います。

## 部会長

「④ごみの焼却処理量」の分析において、要因は3つ程度ありますとなっても、すべてに働きかける政策にはならないかと思えます。そのうちの事業所に働きかけるか、家庭に働きかけるか、そのミックスでいくかになるだろうと思えます。そういった政策の話は次の話で、ここでは単に現状から目標に対してのロードマップを示すだけです。

## 委員

であれば、市民一人当たりにしたほうがわかりやすいかと思えます。43 ページ、3-3 の KGI 「③交通事故発生件数」も同様で、これは千人当たりで出したりもしますし、他市比較などを考えても人口で割っておいたほうが分析に使いやすいと思えます。

## 部会長

コロナの感染者数も同じで、人口当たりにつきの議論もありますが、各都道府県の時点比較としての実数であり、他と比較するものではないとの意図もあります。ここでは豊中のことだけを議論するので、他市との比較ではなく、時点でみて減らしていくということであれば実数ということもあります。ご検討をお願いします。

## 委員

正解があるわけではないと思いますが、意図は説明できるようにしておかなければ担当者が困られるかと思います。

## [4章について]

### 部会長

それでは4章に移りたいと思います。

## 委員

49ページの4-1のKGIについて、アンケートをしていくことになると思いますが、「現状」と「目標」として挙げられるものがあれば、お教えください。

50ページから(1)(2)(3)で人権、男女共同、多文化共生があり、人権平和センター、男女共生参画推進センターすてっぷ、国際交流センターがそれぞれで取り組むと記載されていますが、49ページの「本市における今後の課題」をみると、「市民・事業者・関係機関などとの連携～」とざっくり書いてありますが、もう少し具体的な課題があれば挙げていただきたいと思います。例えば、人権平和センター、男女共生参画推進センターすてっぷ、国際交流センターと豊中市の関係、豊中市としてやっているのか、それとも委託をしているのか、といったところを具体的に書いていただいた方が分かりやすいのではなかと思いました。人権に係わる場所は、1章や2章での子供に関わる場所などと密接に係るものと認識しています。虐待とか差別とかそのあたりをもう少し具体的に書いていただければと思います。

53ページの4-2のKGIについて、「②社会増加数」がよくわかりませんでした。

学校の働き方改革の流れの中で、学校のクラブ活動を地域と連携していく動きがあります。学校教育、学校の働き方改革、地域のスポーツ、クラブも関係することだと思いますので、書けるものがあれば記載いただきたい。ただ、ここに書くものでないのであればそれでも結構です。

## 事務局

基本にご指摘いただいたところは、検討していきたいと思っています。

ご質問いただいた53ページの4-2のKGIの②社会増加数については、転入数と転出数を比べて、転入が上回っている場合は社会増加しています。

## 部会長

人口社会増加ということで、「人口」を入れていただかないと分かりづらいと思います。それ以外は検討していただけるということです。

スポーツについては、地域と学校教育、社会教育のスポーツ施設、あるいはスポーツクラブ活動をどう構築していくかという古くからある議論だと思います。委員のご意見は地域との連携で書けるものがないのかといったご指摘だと思います。Jリーグは、地域スポーツに変えた事例となります。それまでは企業が支援していたが、いまや各地のチームがある。いろいろなスポーツを地域の中につくっていくための核としてサッカーがあった。Jリーグチェアマンは、そういう地域スポーツ政策を夢描いていたそうです。私もスポーツの地域との連携について書いていただけたらと思います。

## 委員

文化芸術は難しく感じます。他の都市と比較してしまう考え方がありますが、文化芸術はそもそも何で測るものなのでしょうか。KGIでも分かりづらい。

## 部会長

例えば、文化度を測るものとしてチケットを一年にどれくらい買うといったことなど、消費行動からみるものがあります。文化施設の整備度合いをみることもあります。豊中市は立派です。ようやく箕面市はホールを移転し、吹田市は建て替える。豊中市は一步半ほど先に行っていると思います。

## 委員

私もそう思います。結構イベントがあり、市民が情報を得られます。落語とかなかなかいいものをやっている。

## 部会長

KGIを挙げていることのご意見として、施策の方向性、記載内容の文言と整合性がありますかというところです。施策の方向性がしっかり測れるようなKGIを考えてくださいというご指摘ではないかと思います。

意識調査だけでは測れないと思います。もう少しハードなKGIを設定された方がいいと思います。

## 委員

意識調査だけでは測れないので、色々な工夫をすべきと思いますが、調査の仕方にも工夫の余地があると思います。

49ページの4-1のKGIの③「人権について考える機会があった市民の割合」、⑤「平和について考えたことがあると答えた市民の割合」とありますが、20年前に考えたことでもいいのでしょうか。過去1年間でということであれば、そういう質問にされた方が答えやすいし、意味がある数字が取れると思います。

いろいろなアンケートの仕方、質問の項目を考えるべきではないかと思います。

## 部会長

的を射たご指摘ですが、市民意識調査は他で実施した調査も活用するので難しいと思います。

## 事務局

総合計画のために実施する市民意識調査もありますが、ものによっては他の事業で実施した調査を持ってくるものもあります。

## 委員

意識調査の調整には、難しいものがあるということは承知しました。

KGIと話は変わりますが、50ページの施策の方向性の(1)の見出しがいろいろなことが盛り込まれていて長いと思います。分かりやすくまとめるよう検討していただけないかと思います。

## 部会長

非核平和都市と人権は、前期基本計画では別々になっていたのを、ここではつなげたからだと思います。施設をひとつに人権平和センターとまとめたからではないでしょうか。非核平和都市は、豊中市が宣言しているからだと思います。

## 事務局

平和都市宣言が昭和 40 年で、非核平和都市宣言が昭和 58 年となります。

## 部会長

これは以前から引き継いで記載しているためと思いますが、議会では議論にならないですか。

## 事務局

非核平和都市については、定期的にご質問があります。

## 委員

人権と平和が同じかという、異質な感じがします。

## 部会長

平和と人権はだいたい一緒のところが多いです。ただ、非核は別の議論となるところが多いです。「人権課題に関わる差別の解消を図り、人権と平和が尊重されるよう取り組みます」は下の②の文章に送っても良いと思います。リード文としてもう少し簡潔にすることは可能ではないかと思えます。

それと、その 50 ページの下に、ワーク・ライフ・バランスという言葉がある。仕事と生活のバランスという意味に訳されるわけですが、そう理解できるのは半分ぐらいの人ではないかと思えます。

## 事務局

難しい単語については、前期基本計画と同様に、下に用語集を作成する予定です。

## 部会長

委員からご指摘がありました国際交流センター、男女共同参画推進センターすてっぷについては、市との関係がよくわからないということでした。

## 事務局

施設は指定管理で行っています。

## 部会長

この文章だけだと、施設はお任せしているのかという印象を与えてしまうということだと思います。ご検討下さい。

49 ページの 4-1 の「共に生きる平和なまちづくり」という大きなタイトルの割には、書かれている内容は全てマイノリティの視点で書かれています。ところが、「令和 9 年度末に実現したい状態」

では「ジェンダー、障害、人種、国籍などの多様性」という言葉がある。多様性の理解をしたうえで、「一人ひとりの違い」を尊重しよう、平和を大切しようという視点が示されています。マイノリティからだけでなく、多様性からの平和なまちづくり、共に生きるという視点がちょっと弱いという印象を受けました。女性活躍の推進とか、LGBT はマイノリティではない。多様性であって対等であるという考え方。こういった視点から施策の方向性は、男女共同参画だけの良いのか。施策の方向性(3)で「多文化共生の施策の充実」が記載していますが、もう少し踏み込んで書いてはどうでしょうか。

#### 委員

54 ページの施策の方向性(1)の⑥ですが、姉妹都市サンマテオ市との交流は野球ぐらいですか。

#### 事務局

昨年度はオンラインの交流会を実施しています。昔でしたら、親善大使の派遣として小学生の交流していました。

#### 委員

年間どれくらいの予算をつけているのでしょうか。

#### 事務局

数字については確認します。

#### 委員

交流促進の担当課はどこになりますか。

#### 事務局

魅力文化創造課になります。

#### 部会長

普通、市長室の中の場合が多いです。

#### 事務局

兄弟都市沖縄市は 50 周年を迎えます。丁度節目にあたるので、この何年かは予算をつける予定です。

#### 部会長

54 ページの施策の方向性(1)の②「文化芸術にふれる機会や活動の場の提供」に対して、④「“音楽あふれるまち豊中”の推進」も示し、文化芸術の音楽バージョンを示されている。同時に②と④が出てきた場合、どっちに予算を優先的につけるのか、ということになります。2 つにする必要があるのでしょうか。普通はひとつの担当課の仕事と思われれます。特出しするのなら、もう少し音楽のあるまち豊中の推進というのを大きく示してほしいです。



## 委員

豊中市は、大阪音楽大学があり、「音楽があるまち」はキーワードになっている。やはり、そこに対して予算を重点的に出してほしい。もっと大阪音楽大学を中心したなかでまちづくりをして、パブがあったり、ライブがあったり、中古の楽器屋さんがある。音楽のあふれるまちとしてそれに付随したようなまちをどうつくっていくのか、ということも必要と思います。

## 委員

最近、どこの駅にいても若者が路上ライブをしていて、結構お客さんが集まっているのを見かけます。ひとつの文化だと思いますし、良いことだと思います。そういうことが都市の魅力となると思います。

北部に住んでいる人は、市内南部に大阪音楽大学があることを知らないのではないのでしょうか。

## 部会長

54ページの施策の方向性(1)の④で「“音楽あふれるまち豊中”の推進」を挙げると、豊中市全体のブランドを指してしまうことになります。つまり、北部でも音楽があふれていることになる。文脈として少し整理をされて、豊中市のブランド戦略として示すのか、大阪音楽大学を資源として音楽あふれるまちにしていくのか、明確に書かれた方が良いと思います。

## 部会長

熱心な議論をいただきました。次回の全体会に向けて整理をしていただきましたご報告いただきますようお願いいたします。言い残した点がありました、次回の全体会でご発言ください。

## ■その他

### 事務局

(連絡事項「今後の日程について」説明)

## 部会長

これで本日の案件について終了となります。第2部会の「第1回豊中市総合計画審議会」を閉会させていただきます。どうも遅くまでありがとうございました。

(以上)